

Part2に引き続き、「学校ICT化に関するアンケート」の回答を掲載します。

※⇒明朝体表記は市教組の見解です。

2. 学習者用端末に関すること

パスワード

- ・児童のパスワードを教職員が見られるようにしてほしい。児童が忘れてしまったら、どうすることもできなくて、その都度困る。
- ・ID、パスワードが一覧で管理することができないので困る。A4の紙に1人1枚ずつ出力はできるのだが、それを毎日持って来れるはずもなく、忘れただけでその生徒は何もできなくなる。せめて生徒手帳に入れられるような個票を作るなり、先生がクラスで管理できるように一覧にするなりできるようにしてほしい。
- ・ID、パスワードを入力する運用になっているため、夜間の生徒さんが使うにはハードルが高いため、顔認証だけでログインできるように改善してほしい。(小学校低学年にも使えるシステムだと思われるので、早急に導入してほしい。)
- ・様々なパスワード、パスワードの更新だらけになり、管理が難しすぎる。
- ・低学年がログインしやすいパスワードがほしい。「@」などが低学年には難しいので。

その他

- ・生徒欠席時に授業を配信してほしいと言われ、Teamsでつなぐようにしたが、さらに学習者用端末と電源コードを家まで持ってきてほしいと言われ、担任業務だとしても、とても負担に感じた。
- ・子どもが作成したものの印刷に非常に手間がかかる(Teamsにデータを移して、教職員が一つ一つ印刷しないといけない等)。以前のPC教室端末のように、子ども用PCから直接プリントアウトできるようにしてほしい。
- ・どんどん使いやすくなるのかと思いきや、そうっていない。
- ・基本的な知識は個人的レベルで習得するのが当然でしょうが、常時使用する機会の少ない職種にとってはまだまだハードルが高い。

・児童用タブレットに算数のデジタル教科書が配当されなくなった。特別支援在籍で、書くのに困難さのあるこの児童は、それを活用しながら授業をしていた。配当の条件等あれば、必要な手当をしたい。

⇒文科省の令和5年度予算「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」での応募が必要だったのかもしれない。校費で購入したデジタル教科書が学習者用端末の更新により消えたのであれば、ヘルプデスクに申請をあげれば再インストールできるようになります。

- ・教科(音楽)としてはクロムブックよりiPadの方が使いやすい。
- ・管理方法が学校全体(市内全体)で統一されていない。家で子どもが使用する時、保護者向けのプリントを配布してもよいのではと思います。紙と鉛筆を使うことも必要。また、何かにつけてオンライン授業となるのも困る。
- ・オンラインをすると必ず教職員用PCと学習者用端末が必要になり、授業に集中できない。
- ・調べ学習など行うが、小中学生には読めない字が多く、市全体として本当に効果的なのかも疑問に思う。個人的には他県に流されすぎることなく、「読み・書き」の基礎的な学習に、より力と時間をかけるべきだと思う。
- ・動画やアプリを使って授業することで、生徒の興味・関心を引く点で良い。
- ・デジタルドリル「navima」は絵やイラストが少なく、字の認識も悪く、子どもたちの意欲が続かない。新学年になり、児童の取り組み時間がバラバラになっているため、宿題等の活用が難しい。(今回やったのか、前年度までにやったのかが分からない)
- ・子どもたちに課題を出して提出させるなど、活用するとよいが、少しのことで提出できない等、問題が出ると学習が止まることがある。なるべく支援員さんが入れる時間に授業をするようにした。
⇒ICT支援員の授業での活用がもっと広がればと考えます。
- ・1年生が4月から使用しようとしても、端末の使い方を教えることから始めるため、人員と時間がかかる。

- ・PCに依存することが恐ろしい。今の教育は末期的だと感じている。本来の姿に戻すことは、もはや無理なのだろうか。
- ・電気代を大幅に増やしている原因だと思います。
- ・教員も生徒も画面だけ見ている授業で果たしていいのか、子どもの表情や顔色を注視する教員が減っていると思う。子どもも画面だけみていて周囲の友だちのことは全く気にならないなどという状況はもはや教育ではない。根本的に考える必要があると思う。
- ・3年前に端末が配布されたが、3年間使った端末が何のメンテナンスもされずに新1年生が使うことに。昨年も同様だったそうだが、3年も使った端末は1度回収して、点検した方がいいのではないか。
⇒使用頻度の高い学校では、バッテリーが消耗している可能性があります。

3. 運用面に関すること(心の天気、欠席連絡アプリ、自動採点システムなど)

心の天気

- ・本当に必要なのか、検討してほしい。
- ・毎日、朝と帰りに入力するのが習慣になっており、スムーズである。
- ・イマイチ活用しきれていないことがある。
- ・1年生から導入しているが、子どもたちが入力する時間や、入力後の確認をするのを見るための時間確保が難しい。晴れ・曇りは「元気・ぼちぼち元気」、雨は「気分がのらない・嫌なこと等を聞いてほしい」、雷は「すぐに聞いてほしい・緊急性を要する」としている。
- ・1日1回開いて入力したり、活用している。
- ・慣れてきたので、子どもは容易に入力するようになった。
- ・習慣化が大変。
- ・一体、意味があるのでしょうか?という意見が多すぎる。
- ・漢字や計算などの学習の時間を確保したい。
- ・確認がプレッシャーになる。ありがたい反面、その瞬間だけや常に雷だったりする子もいて、把握が難しい。
- ・意味がない。貴重な朝学活の時間なので、教員や生徒からの話をする時間、朝学習の時間がもっとほしい。

- 「心の天気」のグループエリアに学習者用端末から入れないのは大変不便。教員用PCを子どもに触らせることになる。
- 教員の子どもの見る目、見方をつぶしてしまう。不要。
- 「心の天気」をする時間や、タイマーの切り換え充電で電池切れなどが発生してしまい、ロスが多い。
- 負担が大きい。活用する余裕がない。
- パスワードの入力に慣れるのに、低学年は時間がかかる。
- 子どもからの批判もとても多い。(入力する意味がないので適当に入れている。毎朝の入力がめんどくさい等)
- 意味のないものであるのに、予算をかけたからと運用を強要している。PCの画面と向き合って、子どもの顔を見れないのはおかしい。
- 必要性が全く感じられず、形式的である。
- 朝の準備で忙しい中、PCを立ち上げアプリを開き、入力してまた片付けるという作業に時間が取られてしまう。
- 導入が降って湧いたような話で、教員の思いの届かないところで教育が行われている感じがして、モチベーションが下がる。
- 時代遅れかもしれないが、子どもの心は、朝、登校時の「顔を見て、声をかける」で把握してきたつもりです。「なぜPCを通してなのか？」不要なのでやりたくない。
- 「心の天気」で子どもの何が分かるのか…。画面を通すより直接顔を見た方が、子どもの様子は分かるのに…。
- 効果がない上、始業・終業の学活が混乱してしまう。
- 1年生はまだ習っていない漢字もあるので、フリガナがあればありがたい。(心こころや朝あさ、帰かえりなど)

ミマモルメ

- 「ミマモルメ」を以前から利用していたこともあり、前年度からのテスト運用もうまくいっている。
- 入力してくれるご家庭とには、とても有効な手段である。連絡の伝えもれもない上、一括して見られるので大変便利。
- 欠席アプリは便利だと思う。ただ、直接連絡をとる必要がある場合もあるので、便利なツールに頼りすぎるのにも注意が必要だと思う。
- 順調。(昨年度は「ちゃるめら」を試しに使っていた)
- 欠席連絡アプリ、五十音順にしてほしい。
- 欠席連絡アプリが出席番号順ではないので、確認するのに時間がかかる。
⇒申し入れを行いました。が、年度内の変更は困難なようです。契約更新時に機能追加が可能か確認するとのこと。

- 欠席連絡のあった相手に連絡をできる返信機能があれば、連絡帳を届けなくていい。
- 欠席などの返信が管理者用IDでないとできないので不便。
- 欠席連絡アプリは担任からメールが送れないので、結局、電話をいれないといけない。
⇒ミマモルメはクラウド上で連絡が来ているかを確認するためのツールなので返信機能を付けるのは困難とのこと。
- 欠席連絡アプリがSKIPの教務と保健室に連動することを強く希望する。無駄が多い！
- 「ミマモルメ」とSKIPを連携させてほしい。
⇒文科省のガイドラインにより校務系と外部の接続はできません。
- 「ミマモルメ」で出欠を確認するようになり、余計に手間がかかる。
- 欠席連絡アプリは電話を受ける職員室では業務のスリム化につながった。しかし確認する側は、その都度切り替えが必要で、把握しにくい時もある。
- 欠席連絡アプリと電話連絡の両方になっているので、どちらかに徹底したい。保護者の理解を得ることが難しい。
- 「ミマモルメ」の登録は任意であるため、学校メールや電話など既存のツールと併用して使うことになり、仕事が増えている。
- 欠席連絡アプリの保護者のインストールが難しいのか、分かりにくいのか、結局保護者がわからないまま、ほったらかしになっている。教員に質問されるけど、こちらも分からない。
- 欠席連絡アプリについて幼稚園では何も聞かされておらず、先日、指導主事と話す機会があり、驚かれた。(予算が付いているらしい)
- 健康の記録と出欠連絡で入力も見るのも2ヶ所に分かれていて不便。
- 欠席連絡アプリは朝、児童が登校してきている時に、電話での欠席連絡などで職員室に呼び戻されることも少なくなり、検温チェックも紙でしていた頃と比べて楽になった。本校ではPTAの有志の方が独自に作ってくださったアプリを活用していたが、年度途中でミマモルメに代わることとなった。
- 移行期とはいえ、紙による健康観察とアプリが併用され、手間が2倍になった。
- 欠席連絡アプリは双方向性に疑問を持つので、保護者側の利便性のみで本来の意味から不要と思っている。
- 「ミマモルメ」は使いにくい、見づらい。「リーバー」の方が良かった。ただ、使い始めた以上は、1年で止めるとはならない ↗

ようにしてほしい。

- 「リーバー」の方が良かった。「ミマモルメ」は×

自動採点

- 自動採点システム「百問繚乱」を利用しているが、とても仕事効率が上がり、重宝している。多くの先生方が使いこなされており、今のところ何の問題もないので続けて利用したい。
- 学習者用端末の自動採点はとても助かっている。使いたいアプリを入れられるようになれば嬉しい。
- 集計→結果がすぐ数字で出る→活用するのはいいが、一人ひとりの生徒ではなく、集団の傾向、数で判断することになりはしないか？
- 自動採点システムを教えてくれる人が来てほしい。
- 採点システムを入れようと管理職に働きかけているのですが、イマイチ委員会の状況が分からないのか、反応が悪い。
- 自動採点はもってのほか。子どもの文字や書きぶりを見て、子どもの心の状況や学習への向かい方を見るのに、教育の根底を覆す。
- 自動採点システムを合理的にとらえ、導入している学校もあるが、自分は不要だと思う。

その他

- 様々なアプリがあるが、その全てを教員で管理するのは無理がある。
- スクールライフノートもナビマ、スカイメニューもいい部分はあるが、今までの学習内容が減っていないのに活用する時間がない。活用するためには、こちらが使い方を学ぶ時間、子どもに説明する時間が必要。端末の不具合が多いことと合わせて、前向きに運用することは難しい。
- デジタルドリルなども活用できている。
- すること自体が目的と化しているアプリが見られる。
- 何が活用されていて、効果があるのかをしっかりと分析し、どのように運用していくのかをしっかりと全校、全教職員に通知してほしい。

紙面の都合上、残りのご意見と「4. その他、お気付きのこと」については市教組ニュース 1343 号の裏面に掲載いたします。